

全国大会出場者表敬訪問

全国大会に出場、または出場を前に市長を表敬訪問した皆さんを紹介します。(敬称略)

8月11日

●ヒップホップダンス

全国子どもチャレンジカップ第8回全国大会(東京都) 第6位入賞

川口祐生(穂高東中)

●陸上競技

第41回全日本中学校陸上競技選手権大会(北海道)

小林叶音(豊科北中)、穂刈康人(三郷中)

第31回全国小学生陸上競技交流大会(神奈川県)

沼野藍、神谷京楓、片桐未音里、白井祭、平田緋奈(豊科北小)、勝野剛、勝野武、野口颯太、柳澤大翔、浅輪佳大(穂高西小)、佐野紗葵(堀金小)

8月12日

●けん玉道

第27回全国少年少女けん玉道選手権大会(東京都)

鹿川健太(堀金小)



①自主防災組織の皆さんによる救出訓練 ②参加者全員で行ったシェイクアウト訓練 ③会場に設置された災害対策本部 ④雨天の中で訓練が行われた ⑤参加団体による訓練報告 ⑥避難所開設運営訓練(穂高西小) ⑦倒壊建物救助訓練 ⑧赤十字奉仕団による炊き出し訓練 ⑨松本広域消防局特別救助隊による救出訓練



表敬訪問した鹿川健太さん(右)と川口祐生さん(上)



表敬訪問した陸上競技出場の皆さん

◎災害に強いまちづくりを目指して 市総合防災訓練行われる

市総合防災訓練が、防災週間(8月30日～9月5日)初日の8月30日、西穂高運動場を主会場に「糸魚川—静岡構造線断層帯」を震源とする直下型大地震を想定し行われました。

大切なのは日ごろの備え
「自助」「共助」で「防災力」を強化

市総合防災訓練は、災害対策基本法と市地域防災計画に基づいて行います。当日は、自主防災組織の皆さんのほか、防災関係機関や市消防団、市と災害協定を結ぶ市医師会など計24の団体、企業から約650人が参加し、26項目の訓練を行いました。

①「シェイクアウト訓練」を実施
同報系デジタル防災行政無線を活用

訓練開始となった当日午前8時30分には、市内全域を対象にした一斉訓練「シェイクアウト」訓練が行われ、本年5月から運用を開始したデジタル同報系防災行政無線を使って訓練放送が流されました。訓練会場では、参加者が一斉に放送に合わせ、地震から身を守るための安全行動を取りました。

②市内全域の自主防災組織が参加
災害時の救助方法や避難所の運営訓練を行う

本年は「共助」の力を高めるため、市内全域から自主防災組織の代表者の皆さんが参加し、倒壊家屋からジャッキなどを使い実際にダミー人形を救出する訓練や、避難所で実際に起こる問題の解決方法を考える、避難所開設運営訓練などを行いました。

宮澤市長は、講評で「『公助』の充実強化と共に、被害を最小限に抑えるため、『自助』や地域をあげて災害に強いまちづくりを進める『共助』の力を高め、安全で安心して暮らせる市の実現に努めたい」とあいさつしました。

③危機管理課危機管理担当
(TEL) 71・2119 (FAX) 72・6739